

◆ 6月28日(土) 13時～17時20分 <記念シンポジウム>

17時30分～18時20分 <第16回総会>

※総会終了後、懇親会を予定しております

◆ 6月29日(日) 9時30分～12時15分 <分科会>

◆ 会場(両日とも) コープイン京都

第16回総会記念シンポジウム

地域におけるくらしの変化と協同力

— 都市社会における新しい「つながり」づくりと協同組合 —

今、日本の家族や地域社会は大きな変化を迎えています。少子高齢化が進むなかで昨年はついにひとり暮らし世帯が最も多くなりました。ひとり暮らしでなくても、長い労働時間や超多忙な生活のなかで家族の結びつきも弱くなっています。また地域社会での人びとの「つながり」も、職住分離の働き方が一般化・遠隔化し、しかも労働時間が不規則化する中で長く住んでいる人びとの間でさえ希薄になり、生涯のうちに何度も住む場所を変えることも珍しくなくなっています。くらしの「個人化」「流動化」が急速に進んでいるのです。それは場合によれば「孤立化」をもたらします。加えて、90年代以降の日本経済の変化のなかで、国民生活の二極化や貧困化も進行しています。

こうした家族や地域におけるくらしの変化をしっかりと見つめよう。今、くらしの現場で何が起きているかをしっかりと凝視しよう。くらしの変化のなかで生まれている様々な困難とともに、その変化に対応して取り組まれている地域社会の新しい協同の動きにも注目してみたい。そして生協をはじめとする協同組合の今日における新しい役割と可能性を探ってみたい。これが昨年の総会以降の私たちの問題意識でした。昨年度は福井（県民生協）、京都丹後（常吉村営百貨店）、島根（おたがいさま出雲）、長崎（おしゃべりパーティ）などの事例をとりあげて、家族や地域の変化の実相とそこでの協同の取り組みを検証しました。

今年は、くらしの変化とそこでの変化に対応した協同の取り組みの検証の場面を大都市圏に移します。高度成長期に全国各地から膨大な人口を受け入れた大都市圏は今急速に高齢社会へと移行しています。もともと「つながり」のつくりにくかった大都市圏、少子高齢化や都心回帰の動きのなか、生活の現場で今何が起きているか。首都圏や中京圏などの大都市圏でのくらしとそこでの変化に対応した協同の取り組みを事例に、都市社会における新しい「つながり」づくりと協同組合の役割や可能性をいっしょに考えてみませんか。

【シンポジウム】 6月28日（土）13時～17時20分

基調講演 『都市社会における新しい「つながり」づくりと協同組合』

浜岡政好 氏（佛教大学教授、当研究所理事・研究委員）

【座長】 上掛利博 氏（京都府立大学教授、当研究所理事・研究委員会代表）

【報告】 向井忍 氏（めいきん生協 常務理事）

「安心して暮らせるまちづくり」を呼びかけて

中村八重子 氏（南医療生活協同組合 常務理事）

「まちにとけこみ まちとふれあう」南医療生協の取り組みから（仮題）

塚越教子 氏（ひたちなか市・NPO 暮らし協同館なかよし 理事長）

「ふれあい・生きがい・支えあい」のまちづくり（仮題）

【コメント】 二場邦彦 氏（立命館大学名誉教授、当研究所理事・研究委員）

【分科会】 6月29日（日）9時30分～12時15分

第1分科会 都市社会における新しい「つながり」づくりと協同

座長 / 上掛利博 氏（京都府立大学教授、当研究所理事・研究委員会代表）

報告 / 服部悦子 氏（瀬戸市・NPO 法人エム・ツウ・エム代表）

くらしと地域コミュニティの課題に向きあって様々な問題解決に取り組む協同組合やNPOの活動から、地域における人々の新しいつながり方と変化する社会の中での協同組合の役割や可能性について、前日のシンポジウムの報告者を交えて、さらに議論を深めます。

第2分科会 協同組合らしい福祉事業の展開方向を探る

— 生協の介護事業展開と現場の実態から —

座長 / 鈴木勉 氏（佛教大学教授、当研究所研究委員）

報告 / 守川洋子 氏（生活協同組合ひろしま 広島中事業所長）

奥野雅史 氏（南医療生活協同組合 星崎診療所事務長）

西岡泰樹 氏（めいきん生協 福祉事業部長）

現在の協同組合の福祉事業は協同組合らしく、利用者や働く人が参加できる組織構成になっているのでしょうか、また、介護保険「改正」により事業として成り立たない現状をどう打開したらよいのでしょうか、福祉と地域の再生の方向を考えましょう。

第3分科会 あたらしい組合員活動の方向を探る — ネットワーク・コーディネート —

座長 / 井上英之 氏（大阪音楽大学教授、当研究所研究委員）

報告 / 辻由子 氏（市民生活協同組合ならコープ 副理事長）

中村依子 氏（当研究所・生協の組合員組織と活動研究会 めいきん生協）

渡辺明子 氏（京都生協 副理事長）

当研究所の「生協の組合員組織と活動研究会」の研究活動を踏まえて、組合員活動の新たな方向性を参加者の皆さんとともに探ります。キーワードは、ネットワーク・コーディネートです。

第4分科会（交流会）健康格差社会における、医療生協や非営利医療機関の役割を考える

座長 / 高山一夫氏（京都橘大学准教授、当研究所研究委員）

問題提起 / 青木郁夫氏（阪南大学教授 当研究所会員）

近年、社会的要因に起因する健康格差が注目されています。うつや孤独死を防ぎ、健康で生き生きと過ごすためには、家族や地域社会での良好で円満な人間関係（ソーシャル・キャピタル）の水準がとても重要です。医療生協・非営利医療機関の理念と活動は、その意味でとても有益です。交流会では、こうした視点から交流を深め、日々の業務・活動を新たな気持ちで行えることを目指します。

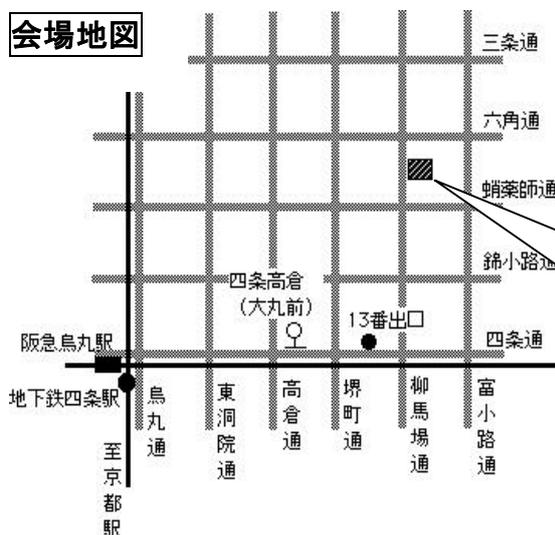
= 参加要項 =

- ◆申込み：この案内の裏面に印刷されている『第16回総会記念シンポジウム申込書』に必要事項をご記入の上、FAXなどでお申し込みください。
- ◆会場：コープイン京都（京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル TEL：075-256-6600）
- ◆定員：150名（会場の都合上、定員になり次第受付を締め切らせていただきます）
- ◆参加費：

会 員	両日参加	3,000円	（1日のみ 2,000円）
☆ 会員価格は、団体会員の構成員の方にも適用します			
非会員	両日参加	5,000円	（1日のみ 3,000円）
学生・院生	両日参加	2,000円	（1日のみ 1,000円）
- ◆宿泊：幹旋いたします。（一泊朝食付で7,500円程度）
- ◆懇親会：参加費 / 5,000円（会場 / コープイン京都）
28日のシンポジウム・総会終了後、午後6時半ころより懇親会を行います。
お時間の許す方はぜひ、ご参加ください。

♪ 会員以外の方も総会へのオブザーバー参加、懇親会へのご参加を積極的にお願いたします。

会場地図



コープイン京都
京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル
TEL 075-256-6600
地下鉄「四条駅」、または
阪急「烏丸駅」下車徒歩 13分

☆お申込み・お問い合わせは

くらしと協同の研究所

〒604-0851 京都市中京区夷川通烏丸東入る西九軒町 291

TEL:075-256-3335 FAX:075-211-5037

E-mail: kki@ma1.seikyuu.ne.jp (ma1の「1」は、算用数字です)

URL: <http://ha1.seikyuu.ne.jp/home/kki/>

第16回総会記念シンポジウム 参加申込書 (団体&個人)

【締め切り日】 6月16日(月) 【定員】150名(定員になり次第、受付を締め切らせていただきます)

【お願いとご案内】

- ☆団体会員の構成員の方も会員価格でご参加いただけます。
- ☆参加される会場の欄にはすべて○印をご記入ください。また、必要事項すべてにご記入下さい。
- ☆FAXで送信いただいた場合は、お電話で着信確認をおとりください。
- ☆宿泊は「コープイン京都」を予定しています。予約は当研究所にて行います。宿泊代は各自でご清算ください。

※個人会員の方には、別途「総会出欠確認ハガキ」をお送りしますので、そのハガキにてお申込み下さい。

◆ 団体集約用 申込書 (研究所会員・非会員)← いずれかに○を		◆ 記入欄が不足の場合は、コピーしてお使いください。 ◆ 参加費は、同封の振込用紙で事前にお振込ください。 また、各団体で取りまとめてお振込いただければ幸いです。									
団体名				記入者名							
記入者 部署名			電話番号 部署直通で	TEL :							
				FAX :							
住所	〒										
参加者氏名	役職	6月28日		6月29日 分科会				参加費 合計	お支払い		宿泊 幹旋 28日
		シホ°	懇親会	第1	第2	第3	第4		振込	当日	

★研究所の個人会員の方へ★
 個人会員の方には、別途「総会出欠確認ハガキ」をお送りします。シンポジウム等もそのハガキでお申込みください。
 欠席の場合、ハガキが「委任状」になっていますので、必ずご返信いただきますようお願いいたします。

◆ 個人申し込み用 (研究所会員でない方) 該当の空欄にご記入ください											
参加者氏名	所属	6月28日		6月29日分科会				参加費 合計	お支払い		宿泊幹旋 28日
		シホ°	懇親会	第1	第2	第3	第4		振込	当日	
住所	〒							電話番号			